

<管理・運営>

- 地域のシンボルとして保全するため、地域住民が自ら建物の維持管理から運営までを行い、管理・運営費についても、原則、自主財源で賄う。
- 折尾駅舎保全に必要となる建物整備費（敷地取得費・建物保全費）については、地域住民が広く住民や企業へ寄付金を募り、保全の実現に向けて最大限努力する。

<課題と取組み>

協議会と市は以下の課題について共通認識を持ち、今後は両方で誠意を持って解決に向け努力する。

【課題】

- ① 事業母体となる組織（NPO法人等）の立ち上げ
- ② 建物保全に要する資金の確保
- ③ 施設建築計画
- ④ 施設の管理・運営体制

■ 地域住民の取組み

- ・ 協議会に事業化検討組織（専門部会等）を設置
- ・ 目的を達成するための地域活動（署名活動・寄付金活動）の実施
- ・ 保全場所、施設規模、活用機能等の決定
- ・ 施設を円滑に管理運営するための他団体との連携やテナント誘致活動の実施

■ 市の取組み

- ・ 建物が保全されるまでの間、市が部材を保管する
- ・ 地域住民の「保全運動の盛り上がり」、「管理・運営を行うための組織づくり」、そして、「経営の仕組みづくり」等を前提に、建物整備費（敷地取得費・建物保全費）等への支援を検討する

基本方針の見直し

この基本方針を実現するには、様々な課題を解決する必要がある。また、実現するまでには「折尾地区総合整備事業」のスケジュール上、長い期間を要する。

その間に市民のニーズや社会状況の変化等も想定されるため、時代の変化に合せ、随時見直しを行っていく。